

関東輸送動向概要

— 平成29年度分 —

種別	モード別	モード詳細	対前年度比 (%)	種別	モード別	モード詳細	対前年度比 (%)
物の流れ	鉄道	車扱	4.1 →	人の流れ	鉄道	JR東日本	1.0 →
		コンテナ	2.7 →			大手民鉄	1.8 →
	トラック	特別積合せ	1.0 →			公営	2.5 →
		一般トラック【ポイント】	▲ 3.2 →		中小民鉄	1.2 →	
		宅配貨物	▲ 1.0 →		バス	乗合バス 東京圏	7.7 ↗
		トラックターミナル	▲ 0.5 →			乗合バス 北関東	3.3 →
	海運	長距離フェリー	3.9 →			貸切バス 東京圏	▲ 23.4 ↓
		湾内フェリー	▲ 10.4 ↘			貸切バス 北関東	▲ 1.7 →
		内航船	▲ 1.5 →			高速バス 東北方面	▲ 4.6 →
	港運	外航船輸出入 横浜	8.4 ↗		高速バス 東海方面	▲ 2.5 →	
		外航船輸出入 東京	7.0 ↗		タクシー	東京圏	▲ 3.5 →
		外航船輸出入 千葉	1.9 →			北関東	0.4 →
		内航船移出入 横浜	▲ 5.4 ↘			東京都実車率【ポイント】	1.1 →
		内航船移出入 東京	▲ 3.3 →		ハイヤー	東京都	27.6 ↑
		内航船移出入 千葉	3.0 →			フェリー	長距離
	航空	成田空港 国際線 輸出 (注1)	14.0 ↗		湾内	▲ 1.3 →	
		成田空港 国際線 輸入 (注1)	7.6 ↗		航空	国際線	5.3 ↗
		羽田空港 国内線 発着貨物 (注1)	▲ 1.7 →			国内線	1.4 →
		羽田空港 国際線 発着貨物 (注1)	20.4 ↑		ホテル・旅館	東京圏	▲ 5.9 ↘
	倉庫	普通倉庫 月間入庫高	2.7 →			北関東	3.8 →
		普通倉庫 月末保管残高 (注2)	2.5 →		旅行業	海外 (注3)	27.6 ↑
		冷蔵倉庫 月間入庫高	4.2 →			国内	3.0 →
		冷蔵倉庫 月末保管残高 (注2)	▲ 1.1 →		輸送機器	自動車登録	新車
			中古車			1.5 →	
			軽自動車			7.7 ↗	
			造船		新造船 (注2.3)	▲ 19.9 ↘	

凡例

20%以上の増	↑
5%以上の増	↗
5%～▲5%	→
▲5%以上の減	↘
▲20%以上の減	↓

(注1) = 暫定数値(速報値)

(注2) = 月当たり平均値

(注3) = 改定数値(対象事業者の合併・廃業等による増減)

平成29年度

1. 物の流れの概要

(1) 鉄道（JR貨物の管内発貨物の荷動き）

- 車扱い貨物輸送量合計値 対前年度比4.1%増
- コンテナ貨物輸送量合計値 同2.7%増

(2) トラック（自動車貨物の荷動き）

- 特別積合せ貨物輸送量合計値 同1.0%増
- 一般トラック輸送量月当たり平均値 同3.2ポイント減
- 宅配貨物取扱個数合計値 同1.0%減
- トラックターミナル取扱量合計値 同0.5%減

(3) 海運

- 長距離フェリートラック航送台数合計値 同3.9%増
- 湾内フェリートラック航送台数合計値 同10.4%減
- 内航船貨物輸送量合計値 同1.5%減

(4) 港運

- 外航船の貨物取扱量合計値(輸出入) 横浜港同8.4%増 東京港同7.0%増
千葉港同1.9%増
- 内航船の貨物取扱量合計値(移出入) 横浜港同5.4%減 東京港同3.3%減
千葉港同3.0%増

(5) 航空

- 成田空港における輸出入貨物量合計値 輸出同14.0%増 輸入同7.6%増
- 羽田空港における発着貨物量合計値 国内線同1.7%減 国際線同20.4%増(※)

※ 羽田空港国際線貨物量の対前年度比が大幅に増加した要因は、ANA(ニューヨーク・シカゴ・クアラルumpur)、ニュージーランド航空が新規就航したことによるものと思われる。

(6) 倉庫

- 普通倉庫の入庫高合計値 同2.7%増、月末保管残高月当たり平均値 同2.5%増
- 冷蔵倉庫の入庫高合計値 同4.2%増、月末保管残高月当たり平均値 同1.1%減

2. 人の流れの概要

(1) 鉄道（輸送人員数年度合計）

- JR東日本 対前年度比1.0%増
- 大手民鉄 同1.8%増
- 公営 同2.5%増
- 中小民鉄 同1.2%増

(2) バス（輸送人員数年度合計）

- 乗合バス 東京圏同7.7%増 北関東同3.3%増
- 貸切バス 東京圏同23.4%減 北関東同1.7%減
- 高速バス 東北方面同4.6%減 東海方面同2.5%減

(3) タクシー・ハイヤー

- タクシーの輸送人員数合計値 東京圏同3.5%減 北関東同0.4%増
- 東京都における実車率月当たり平均値 同1.1ポイント増
- ハイヤーの輸送人員数合計値 同27.6%増(※)

※ ハイヤーの輸送人員数の対前年度比が大幅に増加した要因は、タクシーからハイヤーへの転用増加や、一部地域において、ピストン運行が一時的に増加したことによるものと思われる。

(4) フェリー

- 長距離フェリーの輸送人員数合計値 同2.6%増
- 湾内フェリーの輸送人員数合計値 同1.3%減

(5) 航空

- 国際線の乗降客数合計値 同5.3%増
- 国内線の乗降客数合計値 同1.4%増

(6) 旅館

- 旅館の宿泊人員数合計値 東京圏同5.9%減 北関東同3.8%増

(7) 旅行業

- 海外旅行の取扱額合計値 同27.6%増(※)
- 国内旅行の取扱額合計値 同3.0%増

※ 海外旅行取扱額の対前年度比が大幅に増加した要因は、平成29年4月より、JTBグループが15社から25社へ増加したことによるものと思われる。

3. 輸送機器の概要

(1) 自動車登録

- 新車登録台数合計値 対前年度比0.5%減
- 中古車登録台数合計値 同1.5%増
- 軽自動車届出台数合計値 同7.7%増

(2) 造船

- 新造船の月末手持ち工事量平均値 同19.9%減
-

モード別統計表(凡例等)

- ① 特記しない限り、「年度」は4月1日から翌年3月31日とする。
- ② 表中の符号は、次のとおりである。
 - 「0」、「0.0」……単位未満
 - 「-」……皆無、該当なしまたは統計整理中
 - 「▲」……負数
 - 「r」……改訂数値
 - 「p」……暫定数値
- ③ 用語の使い分けは、次のとおりである。
 - 「管内」……東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県、群馬県、栃木県、山梨県の1都7県
 - 「東京圏」……東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県
 - 「北関東」……茨城県、群馬県、栃木県、山梨県
 - 「前年度比」……モード別の各項目における百分率での増減

モード別管内29年度集計

1. 物の流れ

分類	モード別			(単位)	年度別				
					26	27	28	対前年度比	29
鉄道	車扱い	日本貨物鉄道(株)の管内発貨物合計値		輸送量 (千トン)	5,416	5,335	5,498	4.1	5,725
	コンテナ	"		輸送量 (千トン)	4,962	5,216	5,364	2.7	5,511
トラック	特別積み合わせ	管内主要5社の発貨物合計値		輸送量 (千トン)	1,777	1,735	1,716	1.0	1,734
	一般トラック	管内約50社の発着貨物輸送量 月当り平均		平均値 %	▲ 0.2	▲ 3.5	4.7	▲ 3.2	1.5
	宅配貨物	管内主要1社の発貨物合計値		取扱個数 (千個)	791,924	863,990	940,917	▲ 1.0	931,159
	トラックターミナル	都内4箇所発着貨物の一日分の合計値		取扱量 (トン)	227,185	214,241	213,652	▲ 0.5	212,513
海運	長距離フェリー	管内を起終点とする2社3航路の発着合計値		トラック航走台数 (台)	223,408	198,763	225,932	3.9	234,706
	湾内フェリー	東京湾内1社1航路の数値		トラック航走台数 (台)	1,819	1,952	1,414	▲ 10.4	1,267
	内航船	管内4組合22社の発着合計値		輸送量 (千トン)	54,319	54,980	53,924	▲ 1.5	53,122
港運	外航船	横浜港	各港管内主要10社の貨物取扱量(輸出入)	取扱量 (千トン)	88,562	84,544	82,426	8.4	89,363
		東京港	"	取扱量 (千トン)	57,443	58,303	56,575	7.0	60,561
		千葉港	"	取扱量 (千トン)	19,954	19,322	19,141	1.9	19,502
	内航船	横浜港	各港管内主要10社の貨物取扱量(移出入)	取扱量 (千トン)	6,019	4,140	3,956	▲ 5.4	3,741
		東京港	"	取扱量 (千トン)	3,573	3,402	3,421	▲ 3.3	3,309
		千葉港	"	取扱量 (千トン)	10,058	9,710	9,426	3.0	9,705
航空	成田空港	国際線	成田空港における取扱貨物の合計値	輸送量 (トン)	634,054	573,653	613,564	14.0	699,291
		国内線	"	輸送量 (トン)	750,740	706,057	733,520	7.6	789,385
	羽田空港	国内線	羽田空港における発着貨物の合計値	輸送量 (トン)	758,671	754,177	722,010	▲ 1.7	709,634
		国際線	"	輸送量 (トン)	299,848	335,836	457,504	20.4	550,920
倉庫	普通	東京圏主要10社の合計値		入庫高 (千トン)	8,262	8,157	8,353	2.7	8,581
		東京圏主要10社の月末保管残高の月当り平均値		月末保管残高 (千トン)	1,545	1,549	1,542	2.5	1,581
	冷蔵	東京圏主要10社の合計値		入庫高 (千トン)	2,773	2,805	2,855	4.2	2,974
		東京圏主要10社の月末保管残高の月当り平均値		結末保管残高 (千トン)	471	484	472	▲ 1.1	467

2. 人の流れ

分類	モード別			(単位)	年度別				
					26	27	28	対前年度比	29
鉄道	JR東日本	当局管内のみの数値		輸送人員 (千人)	5,958,967	6,105,947	6,167,761	1.0	6,228,942
	大手民鉄	管内9社の合計値		輸送人員 (千人)	7,403,321	7,564,544	7,729,880	1.8	7,866,942
	公営	管内公営地下鉄の合計値		輸送人員 (千人)	1,143,943	1,182,584	1,209,455	2.5	1,239,562
	中小民鉄	管内民鉄より抽出8社の合計値		輸送人員 (千人)	67,796	67,734	69,526	1.2	70,381
バス	乗合	東京圏	各都県主要2社(計8社)の合計値	輸送人員 (千人)	781,338	787,926	792,915	7.7	853,831
		北関東	各県主要1社(計4社)の合計値	輸送人員 (千人)	37,776	38,344	39,270	3.3	40,553
	貸切	東京圏	各都県主要2社(計8社)の合計値	輸送人員 (千人)	8,284	6,175	6,401	▲ 23.4	4,905
		北関東	各県主要1社(計4社)の合計値	輸送人員 (千人)	1,789	1,411	1,390	▲ 1.7	1,367
	高速	東北方面	2系統の合計値	輸送人員 (人)	150,406	151,174	44,250	▲ 4.6	42,197
		東海方面	2系統の合計値	輸送人員 (人)	106,368	109,788	212,429	▲ 2.5	207,024
タクシー・ハイヤー	タクシー	東京圏	東京圏主要41社の合計値	輸送人員 (千人)	70,942	71,554	68,145	▲ 3.5	65,726
		北関東	北関東主要27社の輸送人員	輸送人員 (千人)	4,881	4,766	4,529	0.4	4,546
		東京都 実車率	特別区・武三地区主要3社の平均値	実車率 (%)	45.1	46.1	46.5	1.1 ポイント	47.6
	ハイヤー	東京都	特別区・武三地区主要3社の合計値	輸送人員 (千人)	510	485	468	27.6	597
フェリー	長距離フェリー	管内を起終点とする2社3航路の発着合計値		輸送人員 (人)	177,209	167,373	171,003	2.6	175,464
	湾内フェリー	東京湾内1航路の数値		輸送人員 (人)	850,283	831,499	818,934	▲ 1.3	808,019
航空	国際線	成田国際空港の合計値。通過客数を含む		乗降客数 (千人)	40,873	44,486	48,063	5.3	50,599
	国内線	羽田空港の合計値		乗降客数 (千人)	68,664	69,562	71,616	1.4	72,602
旅館	旅館	東京圏	東京圏主要6社の数値の合計値	宿泊人数 (人)	320,378	334,092	323,817	▲ 5.9	304,699
		北関東	北関東主要4社の数値の合計値	宿泊人数 (人)	373,860	361,232	312,576	3.8	324,510
旅行業	海外旅行	管内主要10社の合計値		取扱額 (百万円)	816,055	730,768	702,789	27.6	896,660
	国内旅行	"		取扱額 (百万円)	1,786,010	1,904,694	1,766,782	3.0	1,819,805

3. 輸送機器

分類	モード別			(単位)	年度別				
					26	27	28	対前年度比	29
自動車登録	新車登録	新規登録台数(新車)		実数 (台)	1,001,544	1,006,142	1,075,218	▲ 0.5	1,069,454
	中古車登録	新規登録(中古)と移転登録台数		実数 (台)	2,481,987	2,473,911	2,478,014	1.5	2,515,915
	軽自動車届出	三輪以上の新車の管内の全台数		実数 (台)	509,422	428,463	398,087	7.7	428,739
造船	新造船手持ち工事量	管内主要4造船所合計の平均値		(総トン数)	969,766	1,632,124	1,632,886	▲ 19.9	1,308,568